



1

砂で遊ぼう

【ねらい】

- 海水浴場の砂を使って、楽しくいろいろなものを通して砂遊びのおもしろさや砂の性質に気づかせる。
- 波打ち際における製作活動を通して、潮の満ち引きや波の様子など自然の営みを感じ取らせる。
- 身近な砂浜の美しさに気づかせ、大切にしようとする気持ちを育む。

【実施の条件】

- | | |
|--------------------|-------------|
| ●対象／保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時間帯／昼間 |
| ●人数／10人程度 | ●場所／砂浜 |
| ●季節／初夏～初秋 | ●所要時間／60分程度 |

【準備するもの】

スコップ、バケツ、浮き輪、海水着、ビニール袋、いろいろな型枠、パイプ

【すすめ方】

砂を使って、いろいろなものを作ってみよう。

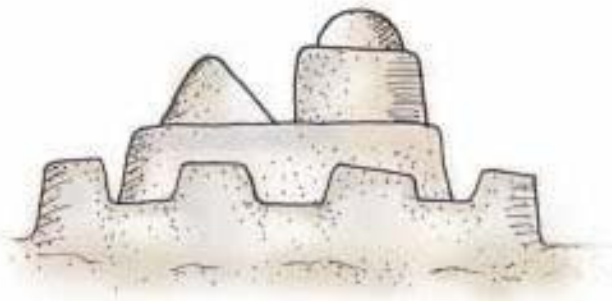
- ① 砂浜の感触を楽しもう。
 - サラサラしていて気持ちいいな。
 - ぬれている砂には足跡ができるぞ。
 - 波打ち際には小さな粒の砂が動いているぞ。
- ② 砂を使っていろいろなものを作ろう。
 - 何ができるかな。
 - ぼくはかいじゅうだ。わたしはお城よ。
 - 遊園地がいいな。トンネルも作ってみよう。
 - 少し湿っている砂が作りやすいな。
 - 深く掘ると湿っているぞ。
- ③ 友達の作ったものを見て歩こう。
 - でっかいかいじゅうだな。
 - パイプを使って道やトンネルができているね。
 - 乾くとくずれてくるな。
 - いつまでもきれいな砂浜があるといいな。ぼくたちで守っていこう。



〈バリエーション〉

- (1) 砂浜でのゲーム（おいかけっこ、ほうたおし、ボール遊び）との組み合わせや、「小石でできた海岸」「貝がらあつめ」のアクティビティと組み合わせることも可能。
- (2) 棒などを使って、大きな絵を描き、高い所や遠くから見て、自然の雄大さを感じさせる展開も可能。さらに、グループで遊園地などの共同作品を製作することもできる。

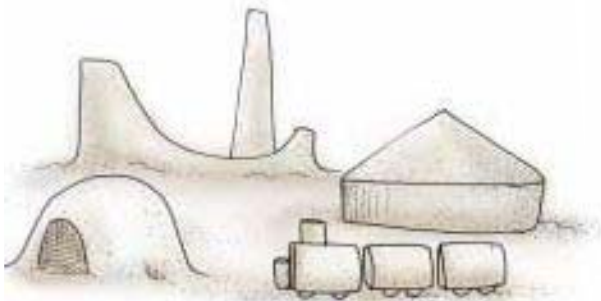
すな あそ 砂で遊ぼう



おしろ



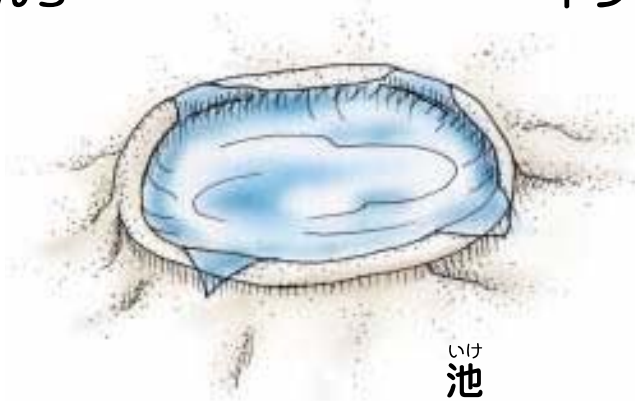
かいじゅう



ゆうえんち



トンネル



いけ
池

- ① すなはま ある すな
砂浜を歩いたり、砂をさわったりしてみよう。
●かわいたところ ●波打ちぎわ
- ② すな つか つく
砂を使っていろいろなものを作ろう。
- ③ すな つく み ある
友だちの作ったものを見て歩こう。



アクティビティ
②

たくましい海浜植物

【ねらい】

- 砂浜に生えている植物にはいくつかの種類があることに気づかせる。
- 海浜植物の根や茎の様子を調べ、長さくらべができるようにする。
- 海岸には厳しい環境にあった植物が生えていることに気づかせる。

【実施の条件】

- | | |
|----------------|-------------------|
| ●対象 / 小学校低・中学年 | ●時間帯 / 昼間 |
| ●人数 / 10人程度 | ●場所 / 砂浜 |
| ●季節 / 夏～初秋 | ●所要時間 / 60分～80分程度 |

【準備するもの】

筆記用具、スコップ、ビニール袋、1mものさし、はっけんカード

【すすめ方】

砂浜に生えている植物を探したり、根や茎のながさくらべをしたりしよう。

- ① 波打ち際から、山側に向けて歩いてみよう。
どのあたりから植物が生えてくるのだろう。
 - 塩水が直接あたる所にはあまり生えていないな。
 - からからの砂地にも植物が生えてるぞ。
- ② どんな植物が生えているのだろうか。探してみよう。
(名前にはこだわらず絵合わせ程度にする。)
 - いろいろな植物を見つけよう。
(指導者が事前に観察する場所に生えている代表的な海浜植物を調査し、その絵が記してある発見カードを利用する。)
 - コウボウムギ、ツルナ、ハマダイコン、ハマエンドウ、ハマナデシコ、ハマボツス、トベラ等
- ③ 根や茎のながさくらべをしよう。
 - とても深いところまでのびているよ。
 - 水を探してこんなにのびるのかな。
(グループで作業をさせ、必要以上に砂浜を荒らさないようにする。観察後元の状態に戻す。)



ハマエンドウ

【はっけんカード】

★^み見つけた^{しょくぶつ}植物に○をつけてみよう。



ハマゴウ



ハマダイコン



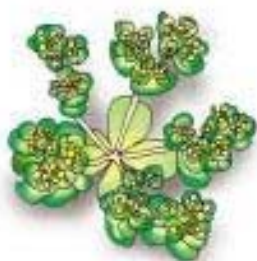
ハマエンドウ



ツルナ



ツメクサ



トウダイグサ



ハマヒルガオ



コヒルガオ

★^ね根や^{くき}茎の^{なが}長さを^{きろく}記録しよう。

cm



3 アクティビティ

流れ着いた物あつめ

【ねらい】

- 海岸にはいろいろなものが落ちていたり、流れ着いたりしていることに気づかせる。
- それらは、人が捨てたものであったり、他の場所から海を渡ってたどり着いたりしたものであることをとらえさせる。
- 海を汚さず、美しい海岸を守る態度や実践力を育む。

【実施の条件】

- 対象 / 保育園、幼稚園、小学校低学年
- 人数 / 10人程度
- 季節 / 四季を通して
- 時間帯 / 昼間
- 場所 / 砂浜
- 所要時間 / 60分程度

【準備するもの】

ゴミ回収用ビニール袋（数枚）、流れ着いた物で作った芸術品、手袋（ビニール製）

【すすめ方】

海岸にはどんなものが落ちていているか調べ、ゴミは回収しきれいな海岸にしよう。

- ① 海岸を散歩しよう。
 - いろいろなものが落ちていているぞ。流れ着いたものじゃないかな。
 - 海で遊んだ人たちが捨てていったものもある。
 - こんな所では泳ぐ気がしないな。
- ② 流れ着いた物集めをしよう。（流れ着いた物で作った工作、芸術品を紹介。）
 - 他の場所から流れ着いたものを集めよう。
 - 何かに利用できないかな。
- ③ 人が捨てたものを集め、きれいな海岸にしよう。（ゲーム化し、楽しく集められるよう配慮する。）
 - 一定時間により多くのものを集める。
 - 燃えるもの、ガラス類、金属等に分ける。
- ④ きれいな海岸を守ろう。
 - 海岸に来る人に「海岸を美しくする内容」の手紙を掲示板に貼る。



〈バリエーション〉

- (1) 海水浴シーズンに集めたゴミの一部や清掃活動のようすの写真パネル展示を、学校（幼稚園、保育園）や海水浴場で企画する。（管理者との共同で企画・実践する。）
- (2) 地域の方々と協同でこのアクティビティを実施することで、より多くの種類のゴミを集め、また、自然を汚さない気持ちを共有することができる。

なが ^つ 流れ着いたものあつめ



- ① ^{かいがん} 海岸をさんぽしよう。
- ② ^{かいがん} ^{なが} ^つ 海岸に流れ着いたものをあつめよう。
- ③ ゴミあつめをしよう。
- ④ ^{うみ} ^{まも} 「海を守ろう」 ^{うみ} 「海をきれいに」などのポスターをはろう。



4

貝がらあつめ

【ねらい】

- 海岸で貝がら集めを行い、いろいろな貝が海に住んでいることに気づかせる。
- 貝がらを使ってかざりや置物を作ることができるようにする。
- いろいろな貝を育む海を守り、大切にする気持ちを持つことができるようにする。

【実施の条件】

- | | |
|--------------------|-------------|
| ●対象／保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時間帯／昼間 |
| ●人数／10人程度 | ●場所／砂浜、岩場 |
| ●季節／春～初秋 | ●所要時間／3時間程度 |

【準備するもの】

筆記用具、ビニール袋、ガラスびん、ニス、紙粘土、ベニヤ板、木工用ボンド

【すすめ方】

砂浜でどんな貝がらが見つかるだろう。いろいろな形、色、大きさの貝を探してなかまわけをしてみよう。

① 砂浜で貝ひろいをしよう。

- どんな形の貝が見つかるかな。
- 二枚貝や巻き貝が見つかった。
- きれいなもようの貝もみつけたぞ。

② 貝がらのなかまわけをしよう。

- 形で分けてみよう。
- 大きさや色で分けてみよう。
- きれいな海にはたくさんの貝が住んでいるんだな。
きれいな海を大切にしよう。

③ 集めた貝がらをつかって何か作ってみよう。

- ぼくは鉛筆立てをつくらう。
- 私はペンダントをつくるわ。
- ぼくは壁かけをつくらう。

④ 作品の展示会をする。

- 貝がらを使って楽しい作品ができた。



かい 貝がらあつめ

かい 《貝がらのなかまわけ》



かい
まき貝



にまいがい
二枚貝

かい つか さくひん 《貝がらを使ってつくった作品》



た
えんぴつ立て



くび
首かざり



かべかけ

- ① すなはま かい
砂浜で貝ひろいをしよう。
- ② かい
貝がらのなかまわけをしよう。
- ③ あつめたかいがらをつかってなにをつく
あつめた貝がらをつかって何か作ってみよう。
- ④ さくひん かい
作品のてらん会をする。



アクティビティ

5

海草のしおりづくり

【ねらい】

- 海草にはいろいろな色や形のものがあることに気づかせる。
- きれいな海草の押し葉を利用し、しおりを作ることができるようにする。
- いろいろな海草がある海を守り、大切にしようとする気持ちを育む。

【実施の条件】

- | | |
|----------------------|----------------|
| ●対象 / 保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時間帯 / 昼間 |
| ●人数 / 5人程度 | ●場所 / 教室（海岸） |
| ●季節 / 夏～初夏 | ●所要時間 / 120分程度 |

【準備するもの】

バット（50cm×70cm）、ガーゼ、ケント紙、新聞紙、板2枚、タオル、ラミネーター、パウチフィルム、おもしろ

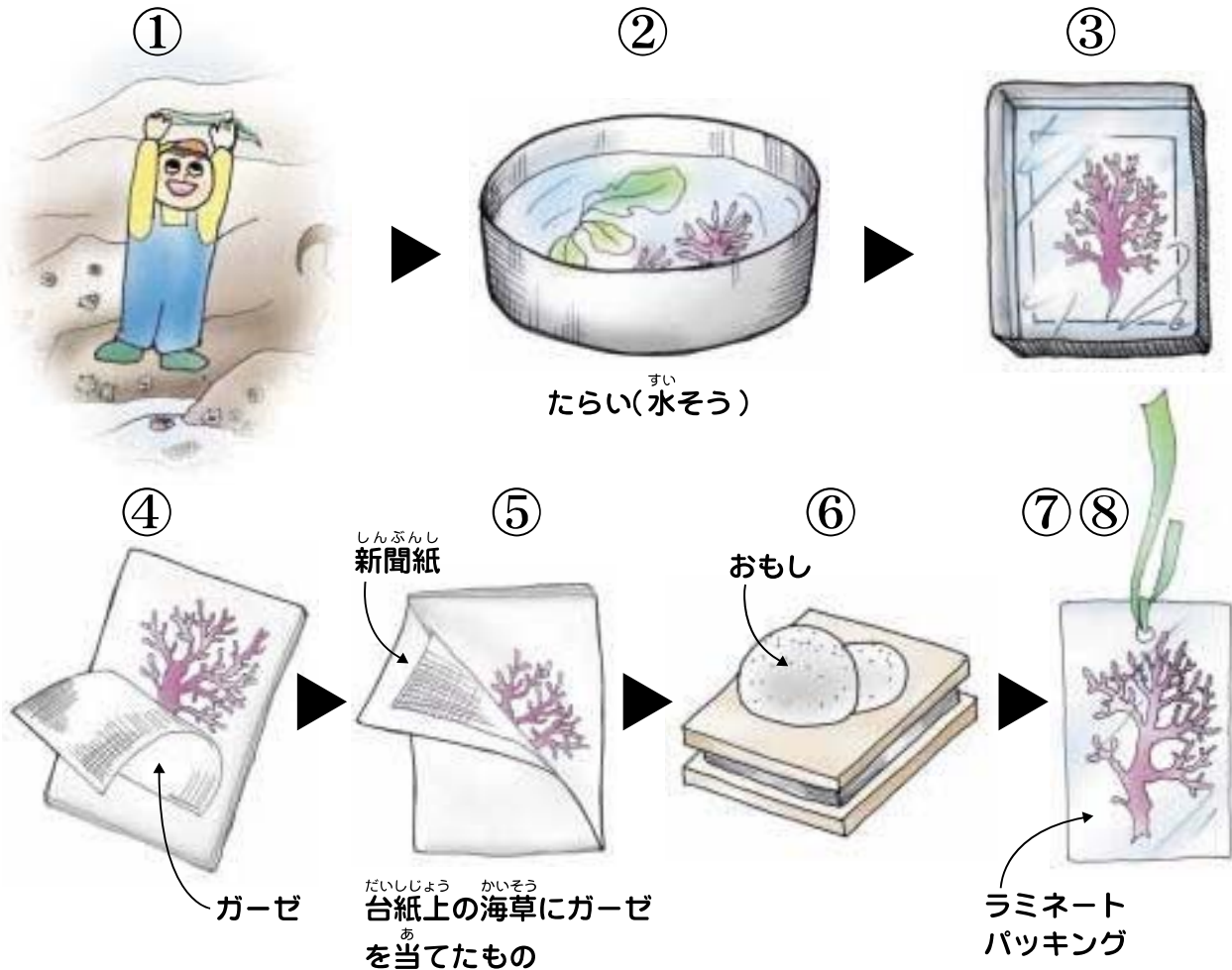
【すすめ方】

海岸でいろいろな海草をひろってきて、それを海草の押し葉にし、きれいなしおりを作ろう。

- ① 海岸にいった海草をひろってこよう。
 - 海に漂っているものや岩に付いているものがあるな。
- ② 水道水で海草のよごれや塩分を洗い流す。
 - いろんな色や形の海草があるなあ。
- ③ バットに水をはり、ケント紙を入れて、上から海草を形がよくなるように広げる。
 - とってもきれいだな。
 - どんな組み合わせにしようかな。
- ④ 形が整ったら水から出し、ガーゼなどを当てて水分を取る。
- ⑤ 新聞紙を重ねて何度かさらに水分を取り除く。
- ⑥ 一般の押し花を作る要領で、ガーゼは取らず、毎日新聞紙のみを取り替え、海草がしっかりかわくまで続ける。
- ⑦ 完全にかわいたらガーゼを取り除き、ラミネートパッキングする。
- ⑧ パンチで穴をあけ、リボンをつけてできあがり!!
 - 美しい海は、私たちにいろいろなプレゼントをしてくれる。大切にしよう。



かいそう 海草のしおりづくり



- ① かいがん かいそう
海岸にいて海草をひろってくる。
- ② すいどうすい かいそう えんぶん あら なが
水道水で海草のよごれや塩分を洗い流す。
- ③ みず し い うえ かいそう
バットに水をはり、ケント紙を入れて、上から海草の
かたち ひろ
形がよくなるように広げる。
- ④ かたち ととの みず だ あ すいぶん と
形が整ったら水から出し、ガーゼなどを当てて水分を取る。
- ⑤ しんぶんし かさ なんと すいぶん と
新聞紙を重ねて何度かさらに水分を取りのぞく。
- ⑥ はな つく ほうほう と まいにち しんぶんし と
おし花を作る方法で、ガーゼは取らず、毎日新聞紙を取りかえ、
かいそう
海草がしっかりかわくまでつづける。
- ⑦ かんぜん と
完全にかわいたらガーゼを取りのぞき、ラミネートパッキングする。
- ⑧
パンチであなをあけ、リボンをつけてできあがり!!

アクティビティ
6

海のゆりかご

【ねらい】

- 「アクティビティ5 海草のしおりづくり」のねらいである、
～いろいろな海草がある海を守り、大切にしようとする気持ちを育む～
について、学習を深める。
- 海草の群落である藻場の役割について気づかせる。
- 藻場再生の取り組みについて学ぶ。

【実施の条件】 および【準備するもの】

- 「アクティビティ5 海草のしおりづくり」参照
なお、所要時間については、30分程度延長する。

【すすめ方】

「海草のしおりづくり」のアクティビティの後、以下へすすむ。

① 海のゆりかご

- 海草がいっぱい生えている場所（藻場）には、どんな生きものがいるか、
考えてみよう。
- 藻場は、魚や生きものにとってどんな場所なのか考えてみよう。

② 海の中でも陸の上と同じ？

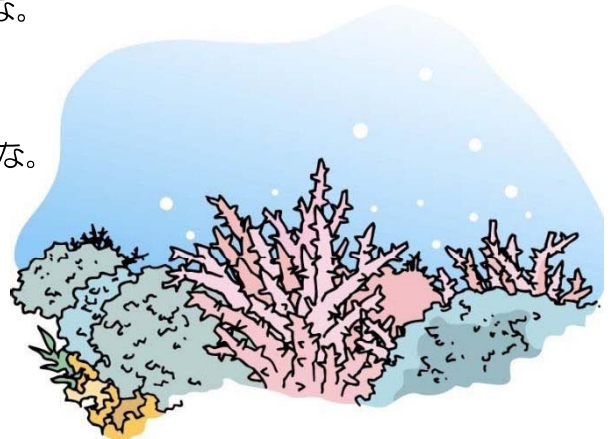
- 草や木と同じように、海の中でも光合成ができるのかな。
- 光合成のためのCO₂や光は、海の中にあるのかな。

③ 藻場を守ろう！！

- 藻場を増やすために、どんなことをしているのかな。
- 私たちに出来ることを考えてみよう。

〈バリエーション〉

地域で開催される藻場保全活動等の見学、参加。



〔くわしく知りたい人のため〕

① 藻場

- 海草、海藻の群落。特に大規模な場合、海中林という。
アマモ場、ガラモ場、アラメ場、カジメ場、コンブ場

② 藻場の役割

- 魚介類の産卵場
幼稚仔魚の保育場
魚介類の餌場
水質浄化
- CO₂の吸収・固定
CO₂の吸収：光合成によるCO₂の吸収とO₂の供給
CO₂の固定：藻体へ炭水化物（糖類）として固定。枯死等の後は土壤内で長期貯蔵
水産庁：藻場は、地球温暖化進行防止のための新たな吸収源としての可能性を有するとして、炭素吸収機能の正確な評価等を行っている。

③ 藻場再生の取り組み

- 山口湾のアマモ場
1950年代：575ha、2002年：28ha、2008年：156ha
- 2002年：アマモ場造成試験
2006年：山口県アマモ場造成指針（地域住民との協力）

【海草、海藻を經由する炭素の循環】

